

実習テーマ	レーザープラズマ軟Xレーザーを用いたX線計測手法の開発
実習場所	関西光科学研究所 光量子科学研究部（京都・木津）
所属・学年	九州大学大学院工学府機械工学専攻修士2年
実習期間	2016年7月25日（月）～29日（金）

●QSTサマースクールに参加しようと思ったのはなぜですか？

私は学部4年の頃からフェムト秒レーザーを用いた半導体表面加工の研究を行っています。実習の担当者である錦野さん、長谷川さんには研究の開始当初から実験装置の設計や実験内容について何度も助言を頂いていました。今回のサマースクールでは1週間というまとまった期間、研究に関してリアルタイムに相談することができ、より効率的に研究を進められると考え参加をしようと考えました。

●どんな実習をしましたか？

実習では、実験やミーティングを通して光学装置の扱い方やレーザーに関してなど、基本的なことから丁寧に教えていただきました。また、実験を遂行して行く上で注意すべき点など、最前線で研究を行っている方ならではの助言をしていただきながら、実験を進める事ができました。

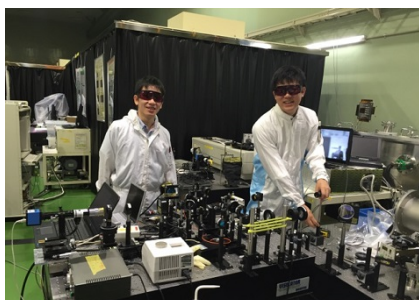
●一番印象に残ったことは何ですか？

実験中、ベトナム人のジンさんに手伝っていただく機会がありましたが、流暢な日本語で親身に対応していただきました。その後も折に触れて私を気にかけてくださり、本当に助かりました。実験がうまくいかず、遅くまで残ってしまった日もあったのですが、嫌な顔一つせず、逆に私の体調を気にしてくださいました。

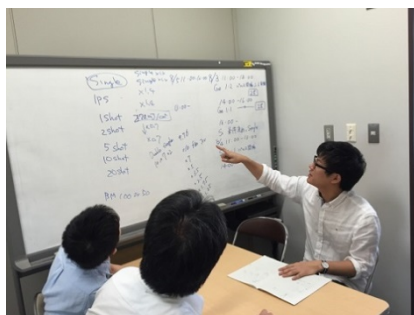
●代表的な1日の流れ

9:00	開始
9:00～12:00	実習 研究グループの方（錦野さん、長谷川さん、ジンさん）と前日行った実験内容・結果および当日行う実験内容の確認のためのミーティング。その後、午後の実験準備。
12:00～13:00	昼休憩 研究グループの方と食堂にて昼食。普段はあまり味噌ラーメンを食べないので、美味しかったです。
13:00～18:00	実習 午前中のミーティングを踏まえて、実験を行う。分からないことや疑問に思ったことはその都度質問することが出来ました。
18:00	終了

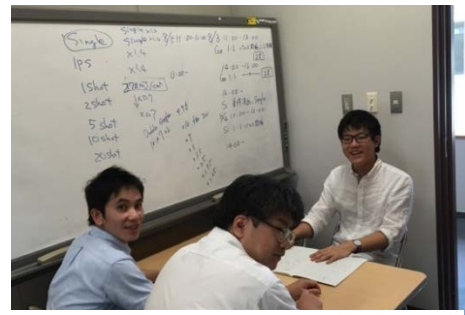
●実習の様子



ご本人（右）。研究者と一緒にレーザーの調整中



研究者（手前）と実験スケジュールについて打ち合わせ中



カメラ目線で。良い笑顔です。